

ワーキンググループの進捗について

令和 4 年 3 月 2 5 日

1 経緯

令和 3 年度第 2 回脱炭素社会推進本部会議（令和 3 年 7 月 5 日開催）において、県有施設における再エネ電力利用、県有施設における照明の LED 化に関する 2 つのワーキンググループの設置について決定し、関係所属に参加いただきながら検討を進めています。

2 ワーキンググループにおける検討状況

(1) 県有施設における再エネ電力利用

県有施設で使用する電気を大幅なコストアップを伴わずに再エネに転換していくための手法や課題等について検討を行っています。

① メンバー

管財課、地球温暖化対策課、ものづくり産業振興課（今後進捗に応じて変更あり。）

② 進捗状況

リバースオークション（せり下げ方式）、複数施設共同調達、PPA（電力購入契約）等の手法について、具体的な取組を検討しました。

③ 今後の取組方向

複数の高圧受電施設における共同調達について、モデル事例創出に向け来年度重点事業として実施するとともに、その他の手法も含めコスト面や技術面での情報をまとめた施設管理者向けマニュアルを作成し、全庁的な再エネ電力の利用促進を図ります。

(2) 県有施設における照明の LED 化

県有施設で使用されている照明器具を LED 照明に転換していくための手法や課題等について検討を行っています。

① メンバー

管財課、地球温暖化対策課、ものづくり産業振興課（今後進捗に応じて変更あり。）

② 進捗状況

リース方式による LED 化について、3 施設で簡易的な試算を行った結果、1 施設において、LED 化により削減される電気代等でリース料金を賄える試算が得られたため、来年度の実施に向け検討を進めました。

③ 今後の取組

モデルケースとして、斎宮歴史博物館においてリース方式による LED 化を実施するとともに、発注に係る事務負担の軽減や想定される課題への対応等をまとめた施設管理者向けのマニュアルを作成し、全庁的な LED 化の促進を図ります。